様式第５号

令和４年度　学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	６２	学 校 名	静岡県立遠江総合高等学校	記載者	森　健司

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	**基本的生活習慣の確立と規範意識の向上を軸に、心身ともに健康・健全で自他の生命（いのち）を尊ぶ心を育てる教育を推進する。**	・校長身だしなみ指導０(ゼロ)の継続 ・欠席、遅刻、早退者数の減少 (昨年　１日平均：欠席 8.5 人、遅刻 4.7 人、早退 1.2 人) ・生徒指導件数　10 件以内 (昨年　３件、延べ 12 人) (一昨年 16 件、延べ 30 人) ・さわやかな挨拶が日常的に交わされる学校 ・生徒手帳の効果的利用の促進 ・自己有用感の向上(キャリアアンケート昨年比増) （昨年１年 75.3%、２年 60.6% ３年 65.6) ・生徒間のいじめ、０(ゼロ)をめざす。 ・生徒相談件数　昨年比減 (昨年　延べ 256 件) ・朝食摂取率 95%以上 （昨年 95.2%） ・集会、式典において校歌を声高らかに歌える。(目指す生徒像)	B	B	・不登校傾向にある生徒に関するアプローチは難しいが、創意工夫して、少しでも生徒とのコミュニケーションが図られると良いと思う。 ・生徒手帳は自己管理だけでなく、ポートフォリオとしても有効。 ・遅刻や不登校、喫煙、飲酒等の問題行動を含め、理由や背景があると思う。次年度実施予定の１分間カウンセリングが功を奏せば良いと感じる。 ・朝食の重要性は、幼・小で行うことではないか。
イ	**系列・年次・教科を超えた協力体制のもと、遠高１６の力の育成をめざしたキャリア教育の定着と改善を図り、多様な進路実現をめざす。**	・生徒アンケート(研修課主管)で「キャリア教育を推進している」が昨年比増(昨年 86.4%) ・キャリア教育に関する評価アンケートで、『聴く力』と『計画的に取り組む力』に関して「できない」と回答する生徒０%、『自ら行動する力』と『学びに向かう力』に関して「できる」又は「ややできる」と回答する生徒 75%以上 ・２年次への円滑な移行とキャリア学習の接続をサポートする。 ・進路決定率 100%（３年次） ・希望進路決定率　２年次 80%１年次 60%以上	A	A	・キャリア教育に関し、積極的に取り組んでおり、評価できる。 ・遠高 16 の力を意識する取組や生徒手帳など、普段からできるようにしてきたことの成果が出ている。
ウ	**学習習慣の定着を柱にした基礎学力の向上ならびに、全ての教科科目でわかりやすく、主体的な学びをめざす授業改善と評価の改善に取り組む。**	・家庭学習時間１日平均 60 分、定期テスト１週間前から 90 分をめざす。 ・落ち着いた朝読書の定着と新聞活用指導の継続 ・図書室の利用者数増 ・定期訪問時の研究授業や研究協議の参加率 100% ・全教員がアクティブラーニングを意識した授業を管理職の授業観察時に実践（実施率 100%） ・授業公開週間時の授業参観率 80%以上 ・測定ツールで把握した学力に基づき、授業改善に取り組んだ教員 80%以上 ・年２回の授業アンケートの実施と活用（継続） ・全科目で評価方法の点検を行い、シラバスに反映させる。(実施率 100%)	B	B	・学習習慣の定着については、生徒本人の自覚・意欲によるところが大きく、難しい面がある。学習する意義について、本人の気持ちに訴えることができればと思う。 ・授業改善について、授業内容についての工夫などを知りたいと思う。 ・学習の仕方が分からない生徒、家庭学習がままならない生徒のため、放課後カフェ学習室などができるとよい。

様式第５号

エ	新学習指導要領への移行、高大接続改革の進行を踏まえ、新しい教育課程の検討を軸にしたカリキュラムマネジメントの推進を図る。	・教育改革、高大接続改革の理解を深めるための校内研修の実施と外部研修への積極的な参加 ・教育課程の点検、検討を進める。（社会に開かれた教育課程を意識） ・ポートフォリオの導入、実践 ・校務内規の点検継続 ・ESD（持続可能な開発のための教育）の理解推進	B	B	・教育環境の変化が大きく、苦労されていると思う。 ・先生方のご苦労は大変なものだったと思う。
オ	双方向の積極的な地域連携と外部発信により、社会に開かれ、地域に愛される学校づくりを推進する。	・キャリア教育に限らず、生徒自身が地域に出て行く機会を増やす。 ・各部活動による年１回以上のボランティア活動の実施 ・系列や専門分野での外部人材の活用推進 ・学校案内をさらに見やすく改善する。 ・学校だより、学校新聞の内容を点検し、各２回発行 ・学校ブログの更新、週１回以上 ・各部活動の活動状況、学校行事の様子等を、大会や行事終了後１週間以内に、ホームページに掲載	A	A	・地域連携について意欲的に取り組まれていて、非常に評価できる。 ・外部とのつながりは重要。外へ出ると自分を知り、他人、地域、仕事等、見えなかったものが見えて生徒は変わる。 ・地域との共存を引き続き頑張ってほしい。
カ	効率の良い業務遂行、業務改善ならびに行事の点検と精選を進め、職員の適正なワークライフバランスの推進と安全・安心な教育環境の整備に努める。	・年３回の防災訓練のうち、事前通知なしの訓練の導入検討 ・学校警備及び防災計画の継続的な点検、改善 ・時間外勤務の出勤簿への正確な記入 ・１ヶ月あたりの時間外勤務 45 時間以内、年間 360 時間以内 ・夏季休暇の完全取得 ・定時退勤日 午後４時 40 分退勤励行 午後６時完全退勤 平常日　午後７時退勤励行 午後８時完全退勤 ・部活動ガイドライン履行達成率 80％ ・コンプライアンス研修毎月１回 ・教職員の不祥事０、体罰０ ・監査・検査等の指示・指摘事項０ ・日頃からの清掃、点検、整備（校舎内外、農場含む）、危険箇所等の早期発見と改善に努め、施設に関する事故０	B	A	・コロナ禍の中、大変だったと思います。教職員の働き方改革が一般にも伝わっているので、業務についてはバランスよく、不要なものはカットすることも必要。 ・ワークライフバランスの推進については、意欲的に勤務に取り組めば取り組むほど難しい面もあると思うが、メリハリをつけて取り組んでほしい。